

## 学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい子どもの育成

## 具体目標 —めざす子ども像—

かしこく・やさしく・たくましい

自らすすんで学ぶ子ども・思いやりのある子ども・ねばり強くやり抜く子ども

## 研究主題

小中一貫を見通した「言葉で伝え合う力を高める」指導のあり方

～発達段階に応じて指導や支援を大切にしたい授業づくり～

長郷小学校が、今年度、全職員で研究を進めていく主題です。研究主題は学校教育目標を受けて設定しています。長郷小学校の目標である「自ら学び、心豊かで、たくましい子どもの育成」を実現していくために、課題となることを克服し取り組みを進めていきます。言葉で伝え合う力は、学校教育目標を実現させていくための基盤となる力と考えます。

言葉で伝え合う力を高める取り組みを進めて今年度で4年目となります。育ちつつある子ども達ではありますが、成果と共にまだ気にかかる実態も残っています。

## 筋道を立てて話す力

子ども達の意識は改善されてはきていますが、論理的に思考し、筋道が分かるように話す力は十分に育っていません。



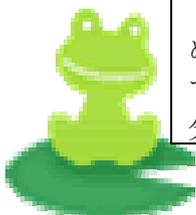
## 確かに聞く力

聞くことができていないため、確かな活動ができなかったり、自分とは違う考え方に目を向けて思考を深めたりということができない実態がみられます。



ことに、聞くことは、前年度大きく改善してきた内容ではありますが、評価規準（子どもに付けたい力を明確にし、具体的な子どもの姿として示したもの）に沿って実態をとらえた評価において、話す・話し合うに比べて到達度は低い結果になっています。また、聞く力が確かに身に付いてくると、他の領域においても、到達項目の増加が増えてくるといった結果も前年度の研究で確認できました。子ども達に確かな力を付けていくためにも、聞くことを大事にした取り組みを進めていきます。

伝え合う力を高める指導を積み上げてきた3年間の取り組みの中で、指導の工夫や支援のあり方が少しずつ明確になってきました。これらのことは、発達段階に応じて系統的に力を付けていけるよう、「長郷小学校学びの系統表」としてまとめてきました。今年度は、取り組みの中でこの系統表を活用しつつ、1年から6年までの系統的な指導や支援のあり方を確立していきます。そして、中学校の3年間につながる力についても研究を進め、小中9年間を見通した学びの系統表へと広げていきたいと考えています。具体的な取り組みや子ども達の様子は、次号よりお伝えしていきます。



長郷小学校では、全職員で全児童を見守るという体制で日々の教育を進めております。一人ひとりを大切に、個々の変わっていく様子に焦点を当てて取り組みを進めていきます。取り組みに関わってのお気づきや質問、分かりにくいことなどございましたら、いつでもご遠慮なく連絡ください。

